

新井雄大 「めざせ！東京オリンピック」 後援会 ニュース

新井選手が東海大学へ進学して、早3ヶ月が過ぎました。入学してまもなく開催された「春季関東大学リーグ」(4/8～5/21)で全11試合に出場し、第2戦以外はフル出場しました。最終結果は9勝2敗で中央大学と並びましたが、セット率で見事、優勝となりました。(2014年秋季リーグ戦以来)また、新井選手自身も「新人賞」を受賞し、今リーグから始めた「FUTURE6(フューチャー6)」(観客参加型の投票企画：全日本で活躍して欲しい選手として、実力と人気を兼ね備えた6人)にも選ばれました。

リーグ戦のデータから全11試合で総打数365本・決定173本(決定率47.4%)・ミス47本でした。そのうちバックアタックの総本数は156本・決定76本(決定率48.7%)・ミス24本というデータが出ました。(久保田算出)決定率で「スパイク賞」は逃しましたが、全出場選手の中で総打数はトップではないかと思われます。「猛打賞」!?チーム優勝に大きく貢献しました。

5/14に「応援ツアー」を計画しましたが、諸事情により取りやめとなってしまいました。参加を希望されていた方々には大変、申し訳ありませんでした。お詫び申し上げます。しかし、私個人としてもぜひ観戦応援したい思いがありまして、個人的に中山会長、吉越副会長、春日さん(後援会会員)に声をかけ、私の車で横浜まで観戦に行きまして。予定より早く到着し、中央大VS早稲田大戦の2セット目から観戦でき、次の試合の東海大VS日体大戦をスタートから観戦できました。結果は3-1で勝利しました。

会場にはチーム関係者や保護者が多く観戦していましたが、予想より混雑はしていませんでした。(中大の石川選手不在だから?)しかし、大学リーグ戦特有の雰囲気があり、各試合白熱したゲームが展開されていました。オポジットのポジション、新井選手は高校時代に比べ、トスが上がる本数は少なかったですが、あの「手も足も出ない」強烈なスパイクが随所で見られました。新井選手が放つ豪快なスパイクに会場からの響めきや「あの選手、やっぱり凄い!」との声も聞かれました。でも、チームに慣れていないせいかミスもあり、時間的な調整が必要だと感じました。

会場には横浜在住会員の竹内様や、ご両親・ご親戚の方々も観戦されており、東海大の応援席で一緒に応援させていただきました。また、中央大の大竹選手(全日本合宿で不在)のお父さん(元全日本選手2m超)と娘さん(デンソー選手)も観戦していました。東海大の試合終了後(最終試合のため次の試合なし)、後援会横断幕をギャラリーに掲げ、照れくさそうにしている新井選手に別れを告げ、会場を後にしました。

また、秋季リーグに出かけてみたいと思いました。会員の皆様も試合会場に近い方や、お時間の都合のつく方は会場に足を運んでご声援いただけたらと思います。以上、関東大学リーグ戦の報告でした。



東海大ユニフォームでのスパイク



東海大チームメート



VS 早稲田戦(左手前は駿台出身の村山選手)



新人賞受賞!



上越から駆けつけた後援会(お父さんたちも)



横断幕の後ろは大竹お父さんと娘

《画像提供は横浜在住の竹内正行様(後援会会員)です。》



3月23日に日本協会より発表された今年度の「龍神NIPPON」の登録29名に最年少で選出された新井選手。6/2～6/18まで開催されていた「ワールドリーグ」のシニア全日本には招集されませんでした。

ワールドリーグをTVで見る限り、近年の全日本男子と比べ、「勝負に行く姿勢」が随所に見られたように思います。その中でも若手の柳田、大学生の石川、大竹といった選手の活躍が光っていましたが、オボジットに大竹選手が起用されており、新井選手がこの中に入ったらどこで起用されるのか、またどんなプレーをしてくれるのか、想像してしまいました。

石川選手はあるTVのインタビューの中で「俺よりも高いかも？」と新井選手の最高到達点について語っていました。まずは大学やそれぞれのカテゴリーの環境に慣れ、自分自身の体力・精神面でのレベルアップをして、「シニア龍神NIPPON」へ這い上がってきて欲しいと願います。

そんな中、6/23～7/2までチェコで開催される「第19回世界ジュニア選手権(U-21)」に背番号4番で選出され、先日(6/16)に出国しました。メンバーにはチームコアメンバーで春高で打ち合いを演じた都築 仁選手(中央大1年)、2016春高でもう少しまで追い詰めた東福岡の金子聖輝(JTサンダース:セッター)など、そうそうたるメンバーと共に戦ってまいります。(メンバーの詳細は日本協会HPに掲載)

出発前に行われた国内合宿で、報道にもあったように残念ながら同じチームの選手が大ケガをしてしまいました。一刻も早い回復を願うばかりです。新井選手もケガや故障をしないように十分注意して欲しいものです。

遠く離れた日本・上越の地から熱い声援を送りましょう！「ガンバレ日本！跳べ！新井雄大！」



○試合結果などの情報が出ましたらブログ等に掲載していきます。

チェコの様子 (新井選手撮影→お母さんへ)

無事チェコ入りした選手たち

(奥左側新井選手:日本協会FBより)

【全日本・東海大学の大会スケジュール】(現時点 ※今後変更等の可能性あり)

- 6/23～ 7/ 2 第19回世界ジュニア選手権(チェコ) ※出場
- 6/22～ 6/25 東日本インカレ(東京) → ※Jr.選手権と重なり不参加
- 7/12～ 7/16 世界選手権アジア最終予選(オーストラリア)
- 7/24～ 8/ 1 アジア選手権(インドネシア)
- 8/18～ 8/25 世界U-23選手権(エジプト) ※出場の可能性あり
- 8/18～ 8/27 世界ユースU-19選手権(バーレーン)
- 8/19～ 8/30 ユニバーシアード(チャイニーズタイペイ)
- 9/ 2～10/ 8(予) 秋季関東大学リーグ戦(各週土日/関東近郊) ※出場?
- 9/12～ 9/13 グラチャン(名古屋大会)
- 9/15～ 9/17 グラチャン(大阪大会)
- 11月下旬～12月上旬(予) 全日本大学インカレ(?) ※出場?

○詳細は関係HP(日本協会・関東大学連盟・全日本大学連盟など)を確認してください。



《事務局連絡先》 ○情報提供をよろしくお願ひいたします。

〒944-0131 新潟県上越市板倉区針 583-3 県立有恒高等学校内
Fax 0255-78-2003 携帯電話 090-4660-7018
E-mail Kubota.hiroshi@nein.ed.jp

事務局長 久保田 弘